

# 「高校生と保護者の進路に関する意識調査」結果一覽

## I 親子コミュニケーションの実態

- 01 進路について高校生と保護者は話をしているか ▲ 前回調査よりさらに増加 ▲ 「具体的進路」「将来の職業」「将来の夢」
- 02 進路についてどんな話をしているか ▲ 「やりたいことをやりなさい」が半数
- 03 保護者はどんな言葉を使うか ▲ 「やりたいことをやりなさい」が半数
- 04 希望進路や悩み、不安を保護者は知っているか ▲ 希望進路の共有は上昇、悩みや不安は認識差あり
- 05 進路について保護者のアドバイスは必要か ▲ 上昇する子どもの希望
- 06 進路を誰と相談し、誰から影響を受けているか ▲ 圧倒的に母親が1位(図A)
- 07 保護者は子どもに仕事の話をしているか ▲ 前回調査より減少

## II 進学・職業に関する考え

- 08 進学についてどんな価値観をもっているか ▲ 親子とも「やりたいことができる学校に」
- 09 どんな職業に就きたいか、就いてほしいか ▲ 親子ともに1位は「公務員」(図B)

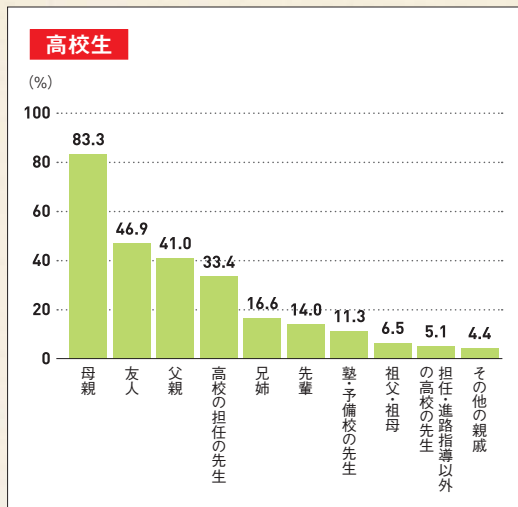
## III 進路にまつわる期待と不安

- 10 進路を考えると、どんな気持ちになるか ▲ 7割の高校生が「不安」(図C)

図B 将来就きたい職業

高校生		
全体 (n=1425)		
2013年 順位	職業	2013年 %
1	公務員	8.6
2	教師	7.6
3	看護師	7.2
4	保育士・幼稚園教諭	5.0
5	技術者・研究者	4.7
6	建築設計士	3.9
7	医師・歯科医師・獣医	3.8
8	薬剤師	2.7
9	事務	2.6
10	俳優・タレント・ミュージシャン・声優	2.5
11	理学療法士・作業療法士	2.4
12	製造・加工・組立	2.2
12	調理師・シェフ・パティシエ・フード関連	2.2
12	トリマー・動物関連	2.2

図A 進路について相談する人



## IV 保護者の動きと高校・教員への要望

- 11 将来働くことに気がかりはあるか ▲ 高校生は前回調査より増加。4分の3が「ある」
- 12 これからの社会は好ましいと思うか ▲ 「好ましい」が前回調査より大幅に増加
- 13 子どもへの進路のアドバイスは困難か ▲ 7割が「難しい」と認識
- 14 高校の進路指導にどんなことを要望するか ▲ 親子とも「進路情報の提供」が1位(図D)
- 15 キャリア教育をどう思うか ▲ 認知率は4割とまり。推進支持は8割
- 16 家庭と学校はどう役割を分担すべきか ▲ 「働く意義」と「将来の目標」は家庭で
- 17 保護者は子どもの進路選択にどうかかわっているか ▲ 「自ら行動」が増加

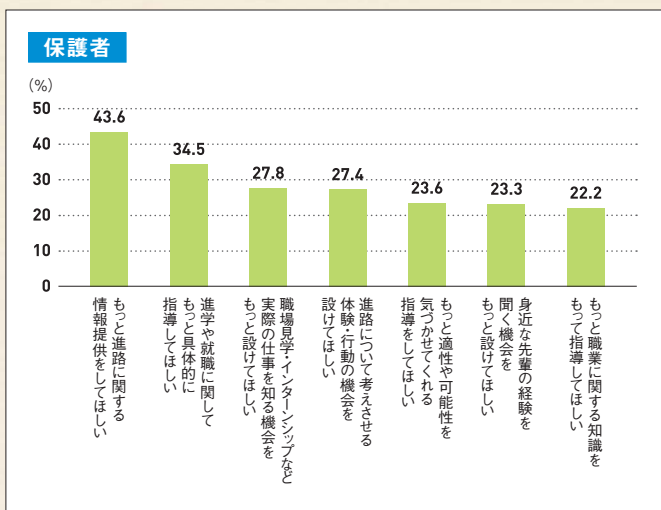
## V グローバル化の影響

- 18 高校生の将来にグローバル化の影響はあるか ▲ 親子ともに半数が「影響ある」
- 19 グローバル社会で通用する人材になりたいか ▲ 高校生の半数以上が「なりたい」
- 20 子どもを留学させたいか、理由は何か ▲ 4割が「させたくない」と消極的

## 本調査のポイント

- 〈保護者による調査結果検討会〉今の保護者は出しゃばりすぎか？
- 生徒の「自立」を念頭に置いた保護者支援やキャリア教育を検討したい

図D 高校の進路指導への要望



図C 進路を考えたときの気持ち

